I.S.P-300→200 変換基板

取　扱　説　明　書

株式会社　京　栄

目 次

● 安全上のご注意

・ご使用の前に

本製品をご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。特に接続方法および操作説明などにおける指示・警告事項は安全上重要な項目です。お読みの上、正しくお使いください。

警告表示の意味

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を追う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています

⚠マークは注意(警告を含む)を、促す内容があることを告げるものです

⚠　注意　　ご使用になる前に必ず取扱説明書（本書）をお読み下さい。

用語：

ターゲットCPU　：I.S.P-300からの書込み対象であるCPUをターゲットCPU又はターゲットシステムと呼称します。

ホストプログラム　：I.S.P-300へ書込みデータを送るために使用するWindowsプログラムです。

インターフェイス　：I.S.P-300とターゲットCPU間の接続伝送方法。RS232C、ASYNC(非同期)、SYNC(同期)、E8a(エミュレータモード)等があります。

⚠ 注意　取扱上のご注意

1. ターゲットCPUへの接続方法は、CPUにより異なります。ご使用のCPUのマニュアルを、よくご確認の上、本製品をご使用ください。
2. ターゲットCPUとI.S.P-300の接続は、信号が一致する事をよくご確認の上ご使用ください。一致していない場合、ターゲットCPUが永久破壊となる場合があります。
3. インターフェイスの選択は、ターゲットCPUと一致する事をよくご確認の上、ご使用ください。一致していない場合、ターゲットCPUが永久破壊となる場合があります。

1. 概要

I.S.P –300→200 変換基板は、I.S.P-200 の 20pin コネクタに対して I.S.P-300 の 14pin コネクタを接続する為の変換基板です。

2. 特徴

I.S.P-200 向けに製作された 20pin ターゲットコネクタとの接続を、当変換基板を経由することにより

I.S.P-200 の代わりに I.S.P-300 で接続、及び書込みを行う事が可能です。

※エミュレータモード接続（E8a、E8、E7、E10T）の場合は、直接 I.S.P-300 の 14pin を直接ターゲットへ接続して下さい。

3. 構成

この製品の構成は以下の通りです。

I.S.P-300→200 変換基板本体	1 枚
ジャンパープラグ	1 個

4. 各部の外観と主な機能

①CN1 14pin BOX コネクタ	I.S.P-300 の接続ケーブルを接続します。
②CN2 20pin ヘッダコネクタ	I.S.P-200 互換のターゲットコネクタに接続します。
③JP1 ジャンパーポスト	ジャンパープラグを接続します。(接続する位置により動作が変わります)

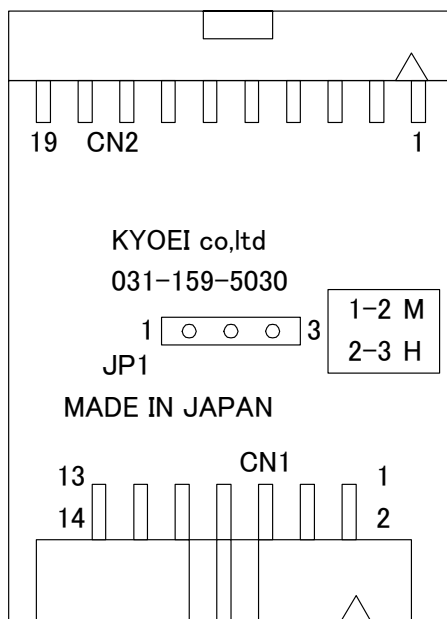
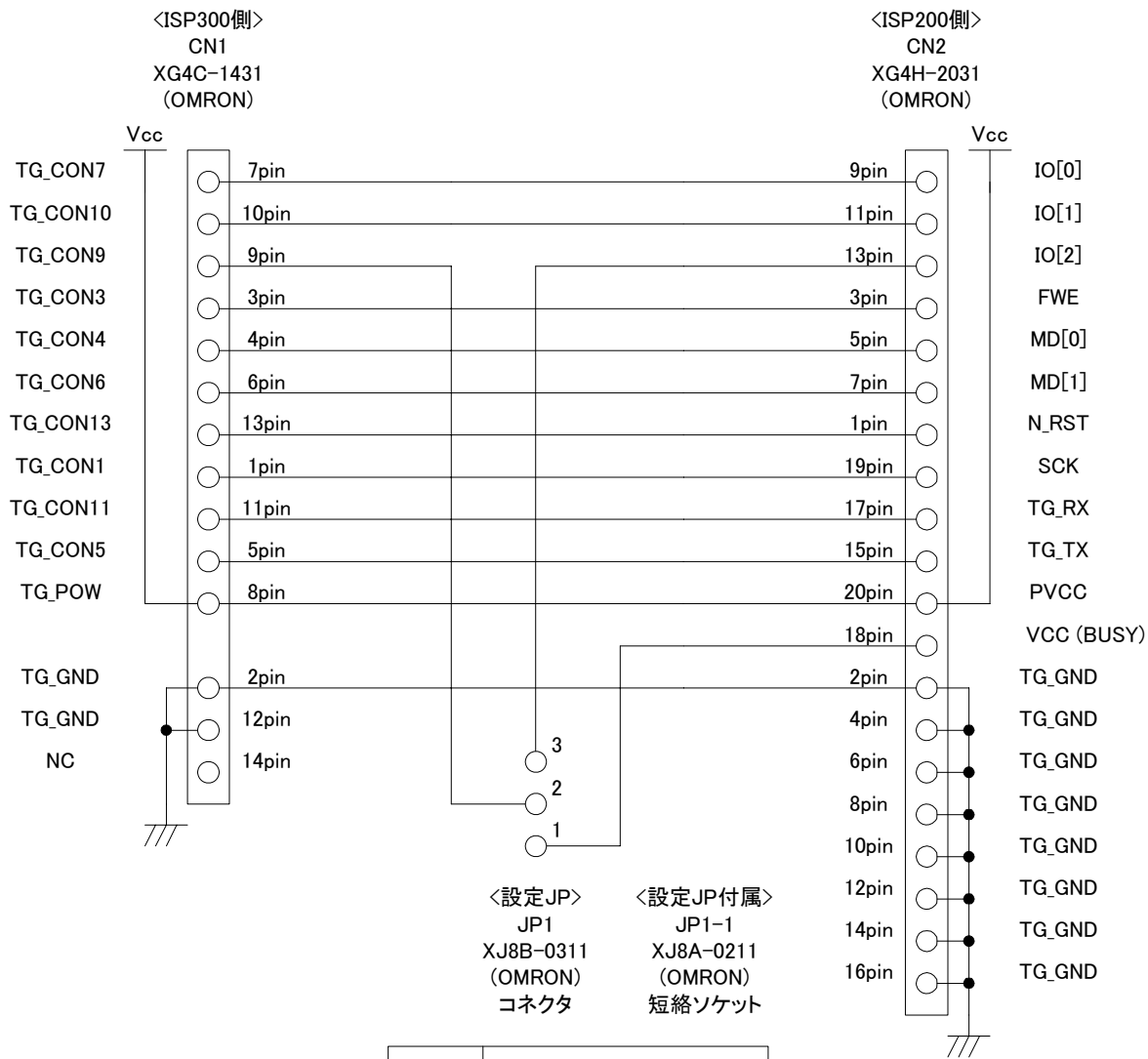



Fig 1 各部の外観と主な機能

5. 変換基板接続図

接続	Renesasマイコン種別
1-2	R8C/M16C/R32系
2-3	SH/H8SX/H8S/H8 300H

I.S.P-300→200 変換基板　取扱説明書

31－159－8100

発行日・版数

2008 年 6 月・第 1 版

発行責任者

株式会社　京栄

〒186－0011　東京都国立市谷保 5826－1

TEL　042－577－3955
FAX　042－580－7222
Mail　kyoei@k-kyoei.jp
URL　http://www.k-kyoei.jp